［習志野市］　習志野市社会福祉協議会　谷津支部



赤ちゃんから高齢者まで きめの細かい地域福祉活動を展開

奏の杜集会所で開かれた子育てサロン「ほっぺ」

県内の市の中で２番目に面積の小さな習志野市ですが、交通アクセスが良く、17万人以上の方が暮らしています。習志野市社会福祉協議会（以下、習志野市社協）は市内に16の支部を設置し、今回ご紹介する谷津支部は最も面積が広く、人口も多く、若い世代が多い活気にあふれたまちです。幅広い世代を対象に、きめ細かく、活発な地域福祉活動を展開されていました。

担い手自身も楽しみながら子育てサロンを月４回

谷津支部は「ふれあいと支えあいのまちづくり」を目指し、７つの部会に分かれ、きめ細かな福祉活動を展開しています。中でも「子育て支援事業部」は活発で、子育てサロン「ほっぺ」を週１回、地域内４か所の会場を順番に回って開催しています。

今回伺ったのは「奏の杜（かなでのもり）集会所」。奏の杜とはJR 津田沼駅の南側に、大型商業施設や高層マンションなどを建設して平成25 年に誕生した新しいまちの名称です。子育て世代が数多く移り住んできたことから、子育てサロンを立ち上げました。



習志野市社協 谷津支部「ほっぺ」のみなさん

当日は46 組の親子が参加し、会場はいっぱいになりました。毎回、100 名近くが集うそうです。最初の１時間は自由におもちゃで遊んだり、お母さん同士がおしゃべりして過ごし、後半の30 分で絵本の読み聞かせや手遊び、誕生月の子どものお祝いなどを行います。

「県外から引っ越してきたので、ママ友をつくりたくて、参加しています」というお母さんが何人もいて、奏の杜地区の子育て支援のニーズの高さが伺えました。

当日のスタッフは９名。支部役員中心（民生委員や主任児童委員など）ですが、習志野市社協のボランティア募集を見て応募された方もいます。新人スタッフの一人は、「ベテランぞろいのスタッフの中に入っていくのは不安がありましたが、あたたかい雰囲気だったので、すぐになじむことができました」と話していました。

子育てサロン部長の間井祥子さんが「自分たちが楽しく活動できることが大切」だと述べているように、スタッフ同士が仲良く、笑顔で活動している様子が印象的でした。



「参加者の人数が多く、会場がいっぱいになることが多いので、課題は災害時の対応です。避難の方法などをしっかり決めておきたい」と間井部長。人数制限や予約制にしているサロンもありますが、「それでは親子のみなさんに申し訳ない」と、これからも参加希望者をすべて受け入れる体制を続けていくそうです。

子どもや障がい者も支援する住民参加型家事援助等サービス

谷津支部では、「住民参加型家事援助等サービス」（いそしぎサービス）が軌道に乗り、年々利用件数が増えています。昨年度は延べ1,140　件のサービスを提供しました。



住民参加型家事援助等サービス（相談電話）

きっかけは平成16 年に支部の事務所を谷津公民館に開所したこと。それまでも助け合い活動は実施されていましたが、拠点ができてからは仕組みを整備し、役割分担を明確にして実施できるようになりました。高齢者世帯の掃除や買い物などちょっとした家事のお手伝いのほか、通院の付き添いや話し相手にも対応しています。

料金は１時間400 円。現在、担い手となる協力会員は約30 名です。ある協力会員は「高齢者のお宅に伺って掃除をしていますが、回数を重ねていくうちに楽しい会話が生まれます。終わった時にありがとうと言われると、次回も頑張ろうと思います」とやりがいについて述べています。



三世代ふれあい交流会

高齢者の支援だけでなく、最近は子どもの保育園の送迎や、障がい者の送迎なども請け負うようになりました。家事援助等サービス部長の杉本潤子さんは、「ほかの支部と比べると、私たちの運営方法は非常にアバウト。協力会員がやりたいと言えば受けるし、難しいと言えばお断りします。無理をしないで担い手が楽しく活動できることが第一ですので…」と、子育てサロンの間井部長と同様に楽しさを強調されました。

小中学生が参加する世代間交流事業

そのほか、世代間交流にも力を入れています。「学校交流事業部」では年に２回、向山小学校の６年生と地域の高齢者の交流会を実施。おしゃべりしたり歌を歌ったりゲームを行っています。「小学生のみなさんが相談しあって遊びを決めるなど、主体的に動いてくれます。高齢者だけでなく、小学生にとっても楽しみなイベントになっています」と、学校交流部長の牛嶋睦さん。

さらに地域の小中学生と高齢者、地域のサークル部員が年１回、一堂に会して「三世代ふれあい交流会」を実施。食事会や手芸、ビンゴゲームなどで親睦を深めます。高齢者をサポートするボランティアを中学生のみなさんが務めているそうです。



学校交流会（向山小学校）

そのほか「ふれあいいきいきサロン」の開催、ひとり暮らしの高齢者への食事サービス、広報紙「いそしぎ」の発行、地域住民を対象とした健康セミナーや防犯講座、料理教室なども実施しています。

支部長の中村嘉秀さんは、谷津支部の活動について「７つの部会がそれぞれ切磋琢磨しながら、一生懸命に活動してくれていることに日頃から感謝しています。だからこそ、乳児から高齢者まで幅広い層に対し、きめこまやかな支援ができているのだと思います」と締めくくってくださいました。



ひとり暮らし老人食事サービス

習志野市社会福祉協議会　TEL 047-452-4161

住民主体のサロン活動を市内全域で展開！



習志野市社会福祉協議会マスコット「ふくっぴー」

習志野市社協では16 の支部すべてで、ふれあい・いきいきサロンを実施しています。開催頻度や内容などは支部ごとに様々で毎月１回の支部もあれば、毎週実施している支部もあります。

「市社協としては、それぞれの支部が地域の特性を活かして、自由な発想で企画した内容を尊重し、活動をバックアップするという姿勢です」と、地域福祉課地域支援係の太田めぐみさん。

各支部の活動内容はバラエティに富んでおり、英会話、卓球、パークゴルフなどに取り組んでいる支部もあります。ある支部では、特にメニューを決めず、参加者が小グループに分かれて、手芸、将棋、麻雀など好きなことをして過ごします。

一方、子育てサロンは約半数の支部で実施しています。市社協が直営する子育てサロン「ふくっぴーファミリーサロン」は週３回開催。参加したお母さんたちが、サロンを卒業した後も地域活動に参加できるように支援しています。

市社協では、ふれあい・いきいきサロンや子育てサロンなど、それぞれの事業ごとに、担当者が集まる会議を年1 回、開いています。そこでは活動の状況や課題について情報交換を行っています。

ふれあい・いきいきサロンの課題として「高齢者の中には開催場所まで歩いていくことが難しい方がいる」「開催場所を増やしたい」という課題が多く挙がっていました。そこで市社協では、サロン数を増やすための「地域サロンモデル事業」を展開。支部以外の地域団体が運営するサロンについて、一定の条件を満たすことができれば、助成金を出すことになりました。



習志野市社協地域福祉課のみなさん

習志野市社協では、誰もが孤立することなく、地域の人と交流できる場づくりを支援しています。

※習志野市人口：172,483人　65歳以上人口：39,721人　高齢化率：23.0%（平成30年4月1日現在）

〔平成29年9月取材〕